

金谷区 地域協議会だより

令和2年7月25日発行

発行: 金谷区地域協議会
編集: 金谷区地域協議会・編集委員
南部まちづくりセンター
Tel 025-522-8831・Fax 025-522-8832

第42号

第四期の地域協議会が始動

地域活動支援事業を審査

提案事業8件全てを採択、8月に追加募集を開始

5月26日(火)、新メンバー(委員名簿参照)による第1回金谷区地域協議会を開催し、会長に村田敏昭委員、副会長に川住健作委員と山井広子委員を選任したほか、会議の運営方法などを協議しました。

また6月12日(金)には、令和2年度地域活動支援事業の審査・採択を行いました。当日は、提案団体からの事業説明を聞いた後、委員による審査・採点を行い、8件全てを採択することとし、予算残額を考慮して追加募集(3ページ参照)を行うことに決定しました。



▲5月26日の初会合の様子(会場:福祉交流プラザ)

▼委員名簿(50音順,敬称略)

石川 美恵子 (大貫四)	高橋 敏光 (御殿山町)
石野 伸二 (黒田)	高橋 誠 (大貫三)
大瀧 幸治 (昭和町二)	高宮 宏一 (上昭和町)
加藤 國治 (上門前)	土屋 博幸 (昭和町二)
川住 健作 (向橋)	平良木 美佐江 (上中田)
神崎 淑 (中ノ俣)	村田 敏昭 (大貫四)
小堺 涼太 (大貫一)	山井 広子 (昭和町一)
小林 雅史 (大貫四)	山本 一男 (上昭和町)

4ページに委員の抱負を掲載

令和2年度地域活動支援事業 《審査結果》

金谷区の予算 850万円

募集期間 4月1日～4月30日

提案件数・補助希望金額

8件 429万2千円

採択件数・採択額

8件 429万2千円

予算残額 420万8千円

採択事業の詳細は、2ページを参照

会長就任のあいさつ

会長 村田 敏昭

本年度、地域協議会は発足後十一年、第四期目のスタートを迎えました。その節目に世界中が「新型コロナウイルス」により、これまで経験したことのない環境の変化を経験しております。

この機会に、地域協議会もその在り方、そして活動を今までどおりではなく、変化して進化に結び付ける工夫が肝要かと考える一人であります。その為にも金谷区の新たな十六人の委員は英知を結集して金谷区の活性化に向け力を合わせて参る覚悟です。どうか同じ金谷区に住む皆様方にも地域協議会に格別なるご理解と率直なご意見、叱咤激励を賜らん事をお願い申し上げます。

令和2年度
地域活動支援事業

採択事業の一覧(受付順)

単位：千円

No.	事業名	提案団体名	事業概要	補助希望額 (採択額)
1	滝寺自然公園整備 と環境保全・保護 活動事業	滝寺まちづくり 協議会	地域の自然環境や歴史文化の維持管理・保全活動を目的に、ミズバショウ自生地の保護・育成、毘沙門堂周辺及び参道の整備等を行う。 また、定期的に活動内容を掲載した会報を発行する。	312 (312)
2	滝寺古文書（古地図）製版及び滝寺砦 古道の整備事業	滝寺歴史保存会	明治31年に製作された滝寺地域の地域図の電子化を行うとともに、住民研修会を実施し、滝寺地域の歴史を後世に伝えていく。 また、滝寺砦までの古道を整備する。	700 (700)
3	正善寺ダム周辺の 紫陽花の維持管理 及び水質保全と環境 美化事業	正善寺紫陽花会	水源の水質保全とダム公園としての景観保持のため、正善寺ダム周辺及び沿線の紫陽花の育成、維持管理を行う。	102 (102)
4	金谷山太鼓継承・振 興事業	高田西小学校後 援会	児童と地域住民との交流及び金谷山太鼓の継承・保存を目的に、太鼓を一部更新するとともに、地域住民を指導者として太鼓の技能の伝承を受け、地域行事等で演奏を行う。	185 (185)
5	金谷地区児童のスポ ーツ振興及び子供 の健全育成を図 る事業	上越南ミニバス 教室	児童の心身の成長及び地域の活性化を目的として、ミニバスケットボールの練習や他チームとの交流大会を実施する。	456 (456)
6	里道（旧後谷線）の 整備事業	後谷・名水桜清 水の会	歴史的に貴重な里道を地域の財産として地域内外に周知することを目的に、里道の整備を行うほか、里山・自然学習会や整備記録の冊子発行などを行う。	938 (938)
7	金谷区飯支部の交 通安全確保事業	上越交通安全協 会飯支部	交通事故の発生を防止するとともに、道路を利用する一人ひとりが正しい交通ルールの遵守とマナーを身につけてもらうことを目的に、道路の「止まれ」表示や停止線の整備等を行う。	638 (638)
8	黒田小学校区活動 における安全確保 及び地域活性化事 業	黒田小学校後援 会	校区内での大運動会等のイベントにおいて児童や地域住民が安全に活動できる環境を確保するため、テント及び長椅子を整備し、活動の充実を図る。	961 (961)

追加募集

新型コロナウイルスを
乗り越えよう！

金谷区をもっと元気にするために
まちづくり活動に取り組んでみませんか



募集期間

令和2年8月3日(月)から

8月21日(金)まで【消印有効】

※土日や閉庁後など業務時間外に受付を
希望される方は、予めご連絡ください。

応募方法

所定の事業提案書に必要事項を記入し、説明資料(団体の規約、見積書、図面など)と合わせ、南部まちづくりセンターに提出してください(郵送可)。

詳しくは、4月1日に全戸配布した募集要項をご覧くださいか、南部まちづくりセンターまでご相談ください。募集要項は上越市のホームページでもご覧いただけます。

予算額

(追加募集する補助金額の総額)

420万8千円

※提案事業の補助金額の下限は5万円、
上限は予算の範囲内です。

地域活動支援事業とは？

身近な地域の課題解決を図り、地域の活力を向上するため、市民の皆さんが自発的・主体的に行う地域活動について支援を行います。



▲地域の安全・安心を確保



▲古道を整備し、地域の魅力をPR

第4期金谷区地域協議会委員の抱負(50音順、敬称略)

※村田会長のあいさつ・抱負は表紙に掲載しています。

<p>石川 美恵子 (大貫四)</p> <p>西部中山間地を生活の拠点としておりますが、暮らし方を見直す時代を迎えて、何か発信できるものがあるのではと考えております。</p>	<p>高橋 敏光 (御殿山町)</p> <p>豊かな自然と歴史文化がある金谷区に誇りを持って住める地域づくりを目指し、再度地域を見直して、委員間で意見と知恵を出し合って活動してまいります。</p>
<p>石野 伸二 (黒田)</p> <p>新型コロナウイルスの影響で、「まちづくり活動」の活動形態に多大な変化をもたらしている状況であり、今後地域支援に委員として微力ですが参画して行きます。</p>	<p>高橋 誠 (大貫三)</p> <p>自然豊かな金谷区には、数多くの観光資源が存在しております。これら観光の構築化を図り、地域の活性化に微力ながら貢献できればと考えております。</p>
<p>大瀧 幸治 (昭和町二)</p> <p>広く自然豊かで、歴史文化もある金谷区は、山麓線が通り、大規模店が進出するなど発展しています。将来自分の故郷と思わせる様、微力ながら取り組んで行きたいと参画しました。</p>	<p>高宮 宏一 (上昭和町)</p> <p>この広い金谷区の課題・問題点に積極的に取り組み、活気ある地域まちづくりに結びつくように、委員として地域の意見を大切に取り組みたいと考えております。</p>
<p>加藤 國治 (上門前)</p> <p>この度、金谷区協議会委員になり、協議会に関し認識不足で不安はありますが、先輩方の御指導を頂き、自然豊かな金谷地区発展の為に頑張ります。</p>	<p>土屋 博幸 (昭和町二)</p> <p>金谷区に住みはじめて十数年を迎えようとしています。自然豊かで交通網も便利で、歴史もあり生活しやすいこの金谷区を、多くの方に知ってほしいです。</p>
<p>川住 健作 (向橋)</p> <p>金谷区は交通網に恵まれた地域です。新幹線の上越妙高駅、高速道路のインター、うみがたり水族館に続く山麓線等、金谷山公園や南葉高原キャンプ場など豊かな自然環境と、歴史や文化を通じて地域の活性化に取り組んでいきたいと思っております。</p>	<p>平良木 美佐江 (上中田)</p> <p>金谷区の前輩の方々がこれまで尽力されてきた地域づくりの様々な活動に学びながら、皆様のお役に立てるよう精一杯努力してまいりたいと思っております。</p>
<p>神崎 淑 (中ノ俣)</p> <p>この度、初めて委員を務めることとなりました。今は決して金谷区に明るいわけではありませんが、できる限り足を運んで学びながら、なにかひとつでも役に立てるよう努めます。</p>	<p>山井 広子 (昭和町一)</p> <p>一期目で2年委員を経験しました。その時の経験をいかし、金谷区に住んで良かったと思えるよう、住民の声を反映させた活動をしていきたいと思っております。</p>
<p>小堺 涼太 (大貫一)</p> <p>金谷区の一員として、子育て中の親として、よりよい未来のまちづくりのために少しでも役に立てるよう勉強しながら頑張っていきたいと思っております。</p>	<p>山本 一男 (上昭和町)</p> <p>縁あって、金谷区地域協議会の委員をさせていただくことになりました。初めてですが、皆さんと金谷区の発展に尽くしたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
<p>小林 雅史 (大貫四)</p> <p>金谷区の自然や歴史、将来を担うこども達へ、様々な活動を続ける方々がいいます。継続から発展へ、若い世代との新たな展開を目指します。</p>	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div> <p>南部まちづくりセンター</p> <p>〒943-0892</p> <p>上越市寺町2丁目20番1号 (上越市福祉交流プラザ3階)</p> <p>TEL 025-522-8831・FAX 025-522-8832</p> </div> </div>